

私の義母は認知症です。それは昨年、義母の持病が悪化し、一日中横になつていたことから始まりました。義母はひとり暮らしで、私たち息子夫婦が週末に訪ねたときだけ起き上がり、一緒にスーパーへ買い物に出掛けていました。私たち以外とはあまり外出をしていないようでした。

そんな暮らしぶりのある日、義母が、「お風呂の中に緑色のものがある」と言うのです。私が何度見ても何もありません。私は義母が認知症ではないかと疑いました。

認知症専門の病院受診の予約ができて、受診日を待っている間のことです。義母は庭で転び、骨折し、入院してしまいました。その後は、階段を転げ落ちるように、急降下で認知症状が進行していきました。

まず顔つきが、人がよさそうな顔から、怒ったようなにらんだ顔つきに変まりました。次に、スパイがいて、義母をいつも見張っているというような幻視が現れてきました。言葉づかいも乱暴になりました。

なぜ、義母の持病が悪化したとき、私たちはすぐに病院に連れて行かなかったのか。なぜ、義母の家に毎日訪問して外出などを促さなかったのか、話し相手になることをしなかつ

認知症になっても

たのか。私たちと同居していれば、目が届き、義母の好きな家で自立して過ごせたはずなのに……。義母を認知症にしてしまったのは、自分たちのせいだと後悔や反省することばかりでした(※)。

現在、義母が施設に入所して半年以上たちます。週末に面会に行っていますが、今では顔つきは元の人のよさそうな顔に戻っています。昼間でも眠そうな時もあります。好きな塗り絵やお花などを他の入所者さんたちと楽しくやりながら、落ち着いた毎日を送っているようです。

施設の方の支援を受けなければなりません。義母には、認知症になっても、自分らしく、できるだけ自立して、生き続けてもらいたいと思います。

※もしかして認知症？

認知症に関する相談窓口は
南国市地域包括支援センター

〒783・0001

南国市日吉町2・3・28

☎088・804・6010まで

■問い合わせ

人権啓発広報委員会

☎880・6569